

## < 国語科 > 3年

### 現在の分析

<p>&lt;国語への関心・意欲・態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・物語・詩・説明文などの読書に意欲的な児童が多いが、幅広く読書しようとする態度が身に付いていない児童もいる。</li><li>・文章を書くことに、意欲的ではない児童がいる。</li><li>・自分の伝えたいことを話すことについては個人差が大きく、意欲的な児童も多いが、話すことに消極的な児童もいる。</li><li>・人の話を聞くことには個人差が大きく、意欲的な児童も多いが、メモをとりながら集中して聞く態度が身に付いていない児童もいる。</li></ul> <p>&lt;書く能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相手や目的を意識して文章を書くことができる児童が多いが、「」や段落変えのときの原稿用紙の使い方については、十分に理解していない児童が少なくない。また、自分の文章を見直して、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることが苦手な児童もいる。</li></ul> <p>&lt;読む能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・登場人物の行動や気持ちの変化や性格、情景を想像して物語文を読むことができる。考えと事例の中心となる語や文をとらえて説明文を読むことができる児童が多い。しかし、語彙量に個人差があり、文意をとらえるのが困難な児童もいる。</li></ul> <p>&lt;話す・聞く能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相手や目的に応じて、理由や事例を挙げながら、適切な言葉遣いで話すことができる児童が多い。話の中心に気を付けて話を聞き、感想を述べることができる児童が多いが、適切なメモをとったり、内容の中心にかかわるような適切な質問ができなかったりする児童もいる。</li></ul> <p>&lt;言語についての知識・理解・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新出漢字の学習は、意欲的に取り組むことができた。しかし、定着、活用には至っていない。また、既習漢字を使った文章を書くことや、文章の中に自分で既習漢字を使うことには慣れていない。</li></ul>
--

### 重点課題

<p>&lt;国語への関心・意欲・態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・幅広く読書しようとする態度をはぐくむこと。</li></ul> <p>&lt;話す・聞く能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自分の考えや伝えたいことを中心に内容をまとめ、筋道を立てて話すこと。</li><li>・メモをとりながら、よく出てくる言葉に気付き、話の中心をとらえて聞くこと。</li></ul> <p>&lt;書く能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・知らせたい事柄の中心を明確にして、その事柄と他の事柄との関係をよく考えて書くこと。</li><li>・自分の考えや調べたことから分かったことや感想をまとめること。</li></ul> <p>&lt;読む能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文章をよく読み、中心となる文や語をとらえたり、細部に注意して正確に読んだりすることの大切さに気付くこと。</li></ul> <p>&lt;言語についての知識・理解・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新出漢字の定着に向けて、文章を書くときに、国語辞典を用いるなどして、既習漢字を使用する態度を身に付けること。</li></ul>
---

### 授業改善策

<p>&lt;国語への関心・意欲・態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・読書に親しむため、図書時間を活用し、さまざまな本の紹介や読み聞かせなどを積極的に行う。</li></ul> <p>&lt;話す・聞く能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・内容を伝えるのに適切な言葉を選び、ちょうど良い音量、速さで話すことができるように指導をする。</li><li>・話の中心や構成に気を付けてメモを作り、それを基にスピーチする機会を作る。</li><li>・必要に応じてメモをとりながら、話の中心に気を付けて話を聞く機会を保障する。</li></ul> <p>&lt;書く能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・知らせたい事柄の中心を明確にして分かりやすい文章にするため「はじめ・中・終わり」を意識させ、メモを整理して文を書くよう指導をする。</li><li>・自分の考えをまとめることができるよう、書いてある内容と感想を整理するよう指導する。</li><li>・文末をそろえて書くように指導する。「～だ。～である。」調と、「～です。～ます。」調。</li></ul> <p>&lt;読む能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・音読の宿題を通して一つ一つの言葉や表現を自分で考えながら、工夫して音読できるようにしていく。その際、年上の人に聞いてもらい、でき具合についてサインをもらう。</li><li>・授業の中で、音読の回数を多く取り入れる。</li></ul> <p>&lt;言語についての知識・理解・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習したことを進んで言語生活に生かそうとする意欲を高めるために、国語辞典などの活用を通して、言葉に対する感覚を磨いていく。</li><li>・文章中で漢字を使うことに慣れるために、短文作りや俳句作りなどの活動を取り入れていく。</li><li>・既習漢字と3学年配当漢字は、漢字スキルや50問テストの反復練習を行い、定着を図る。</li></ul>
---